



こんにちは

日本共産党品川区議会議員

# 鈴木ひろ子

事務所 中延2-11-7  
日本共産党品川地区委員会  
日本共産党区議団控え室

TEL3783-8833  
TEL3785-2810  
TEL5742-6818

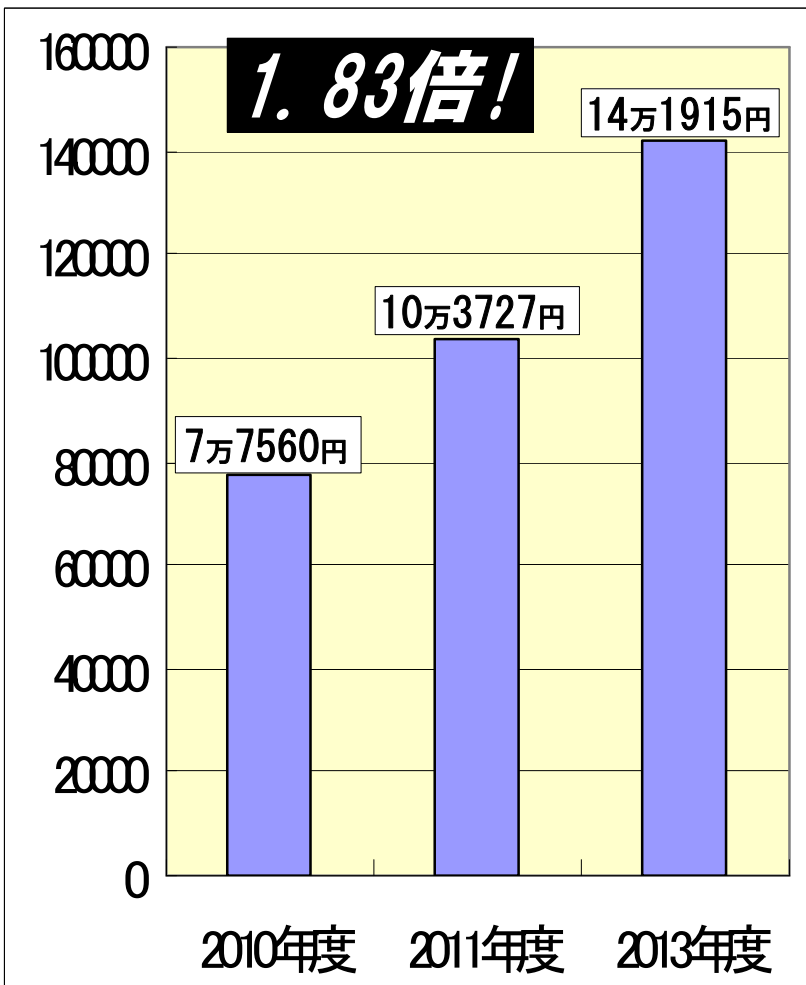
このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

## 6月から大幅値上げが弱者を直撃

# 国保料は引き下げこそ

### 請願署名1146人

年金年額・約228万円、障害のお姉さんを扶養しているBさんの場合



6月半ば、国保加入者にいつせいに送られた納付書。皆さんの国保料はどうだったでしょうか。品川区への苦情問い合わせが、多い日は1日500件

### 「なぜこんなに値上げなのか」

苦情・問い合わせ1日500件超

6月半ば、区から一斉に送られた国保料の納付書。大幅値上げが社会的弱者を直撃。「品川の医療と介護をよくする会」が「国保料の引き下げと区民

を越えました。障害者のお姉さんを扶養しているBさんは、昨年7万7千円だった保険料が今年10万3千円（1・34倍）に値上げされ、2年後には14万2千円（1・83倍）に。今でも姉の介護施設費用の支払いに貯金を取り崩しながらの生活。

を越えました。

説明会を求める請願」を区議会に提出、6月27日の厚生委員会でも審査されました。賛成は共産党だけ。自民、公明、民主などが不採択としました。

値上げされたら払いきれないと訴えます。

「品川の医療と介護をよくする会」(代表・権守光夫ゆたか診療所所長)が、1146筆の署名を添え「国保料の引き下げを求める請願」を提出。6月27日厚生委員会審査され、私・鈴木ひろ子は石田ちひろ議員と共に、引き下げを求めてがんばりました。

### 算定方式を変え、社会的弱者を狙い撃ち

今回、23区が一齐に保険料の算定方式を変更。所得から基礎配偶者、障害者、寡婦、社会保険料、医療費などの各控除を行った後に課税される住民税を元に算定する方式から、所得から基礎控除を行っただけの金額をもとに算定する方式に変更したため、様々な控除を受けていた社会的弱者が狙い撃ちされ大幅値上げとなりました(9万2千人の国保加入者中約2万人が大幅値上げ)。

私は、どれほどずさまじい値上げなのか、区民の実例を紹介し区民の大変な実態に心を寄せてほしいと訴えました。また

「高すぎる保険料が命を奪う」とメディアでも取り上げられ、社会問題になっていいる中、区内でも深刻な事態が広がっている。

「引き下げこそすべき」と訴え、請願の採択を主張しました。ところが、自民・公明・民主・無所属の与党は「負担が多くなっているのは事実」と認めながら「致し方ない」(自民)などと区民の願いに背を向け、請願に反対しました。

### 続く改悪にストップを

今回の国保料大幅値上げの本には政府が進める国保の「広域化」があります。現在区市町村が運営する国保を都道府県単位にし、一般財源は入れるなどいう方向を出しています。算定方式の変更はその第一歩。政府が進める「広域化」は高すぎる国保料をさらに値上げすることにつながります。共産党は、「広域化」をやめさせ、国保料の引き下げを求めて頑張ります。



## 品川区に非難してきた被災者の要望が実現

### 住宅にエアコン設置 区民住宅受け入れ期間延長

私は6月はじめ、「放射能からなんとかしても子供たちを守りたい」の一心で福島原発から10数kmの南相馬市から避難し区民住宅に入居の方々からアンケートを行いお話を伺いました(詳細はひろ子ニュース6月19日号)。

「子供たちの夢も将来も奪い、私たちの生活を狂わし、人生を狂わした東電を恨んでも恨みきれない」というお母さんの言葉が忘れられません。

共産党は、出された要望を6月議会の本会議で取上げました。

質問：品川区として、被災者の実態調査を行い、支援策に反映させるよう求める。

- ① 区民住宅の受け入れは当面6ヶ月ですが、生活再建の見通しがつくまで延期すること。
- ② 東電に電気料金の免除や一時帰宅の交通費を出すなどの申し入れを行うこと。
- ③ 暑い夏に向けてエアコンの設置を国や東電に求めること。設置が遅れるなら当面区が設置すること。

### エアコン設置工事が7月からスタート

品川区は、7月1日を持って品川区の被災者が入居している区民住宅を、応急仮設住宅と位置づけ、標準設備であるエアコン設置を行うことになりました。現在設置工事が進められ、とても喜ばれています。設置費用は1台6〜7万円。当面品川区が仮払いし、最終的に国に請求するとのこと。

### 区民住宅の受け入れ期間も延長

応急仮設住宅となったことで入居期間も原則1年(最長2年)となり、当初6ヶ月としていた期間を延長できることになりました。

要望の一部ですが実現してよかったです。これからも被災者支援に取り組みます。

